



第15回 高校生ユージン研修 報告書

2025.3/22~3/31



訪問スケジュール

月日	都市	内容
3/22 (土)	掛川発 羽田空港発	出発式（掛川駅） 掛川～羽田 羽田～シアトル
	シアトル空港 リンウッド着	エドモンズカレッジスタッフがお迎え 校内でホストファミリーと対面
3/23 (日)	リンウッド	ホストファミリーと過ごす一日 ホームステイ
3/24～26 (月)～(水)	リンウッド	エドモンズカレッジにて語学研修 3/25 在シアトル日本国領事館訪問 3/26 エドモンズカレッジ修了式 ホームステイ
3/27 (木)	シアトル発 ユージン着	エドモンズカレッジからシアトル空港へ ユージン空港到着後 姉妹都市委員と対面 ユージン市長表敬訪問・市庁舎見学 チャーチル高校にて現地高校生と交流 ユージンのホストファミリーと対面 ホームステイ
3/28～29 (金)～(土)	ユージン	ホストファミリーと過ごす 3/29 ホストファミリー＆姉妹都市委員と フレンドシップディナー ホームステイ
3/30 (日)	ユージン空港 シアトル空港	ホストファミリーとお別れ 帰国へ
3/31 (月)	羽田空港着 掛川着	(羽田空港～掛川)



2025 年 2 月 1 日
結団式（掛川市役所 4 階会議室）



2025 年 2 月 9 日 第 1 回事前研修（名学館和田塾）

2025 年 3 月 9 日 第 2 回事前研修（名学館和田塾）



2025 年 3 月 22 日 出発式（掛川駅）



2025年3月23日～26日
エドモンズカレッジ語学研修



2025年3月25日 在シアトル日本国領事館訪問



2025年3月27日～30日
ユージン姉妹都市交流プログラム
2025年3月27日 ユージン市長表敬訪問



2025年3月29日 フレンドシップディナー



2025年3月31日 掛川駅帰着



3月22日から31日まで、アメリカを訪問し、語学研修やホームステイ、姉妹都市交流を体験した。滞在先は、ワシントン州シアトルと、姉妹都市であるオレゴン州ユーージーン。どの経験も刺激的で、本当に貴重な時間だった。短い期間ではあったが、日本では得られないような学びや成長を感じることができたと思う。

この訪問の中で、特に印象に残っている出来事を3つ挙げたい。

まず1つ目は、アメリカ到着直後の入国審査の場面。

実は、訪問が決まった時から一番不安だったのが英語力、特に英語をしっかりと使う入国審査だった。審査官の前に立った瞬間は、「うまく伝えられるだろうか」「相手を困らせたらいかがでしょうか」と不安でいっぱいだった。

ところが、意外にも審査官の話す英語が聞き取れて、少し緊張がほぐれた。LとRの発音などで戸惑った場面もあったが、自分の言いたいことはちゃんと伝わったし、会話もスムーズだったと思う。

「How many days do you stay?」という質問に対して、両手で「8」とジェスチャーをしたら、審査官が笑って「Oh, I like this!」と返してくれたことが強く印象に残っている。あの一言で、英語を使うことへの抵抗がぐっと減った。おかげで、その後の滞在中も積極的に人に話しかけることができた。

2つ目は、ユーージーンでインタビューを受けたこと。

まさか自分が答えることになるとは思っておらず、かなり緊張してしまった。質問もすべて聞き取れたわけではなく、答えもうまくできた気がしなかった。ただ、実際にインタビューを受けたことで、「自分は何を考えているのか」「何を伝えたいのか」を意識するようになり、その後の活動でもその視点が活きたと思う。

後からインタビュー音声を聞き直してみると、思っていたよりもきちんと答えられていて少し安心した。あのときの緊張すら、今ではいい思い出になっている。

3つ目は、この滞在を通して本当にたくさんの人と出会えたこと。

ホストファミリー、他の留学生、現地の先生やお店の人など、さまざまな人と関わることができ、それぞれの人からたくさんの刺激を受けた。人種や文化、価値観もバラバラなのに、同じ言語を使って意思疎通ができることに言葉の力を感じた。



今までは「英語＝勉強するもの」というイメージが強かったけれど、実際に現地で英語を使って人と会話する中で、「言語って本来、使ってこそ意味があるんだな」と実感できた。この気づきは、今回の経験の中でも特に大きな収穫だったと思う。

今回のアメリカ訪問を通して、自分の中で英語に対する姿勢も、人との関わり方も、大きく変わった。ほんの10日間ではあったが、自信や視野、考え方にしっかりとした変化があったと感じている。これからもこの経験を大切にしながら、さらにチャレンジしていきたい。

ユージン研修報告書

高校2年男子



シアトルでは、パイク・プレイス・マーケットで買い物をたくさんしました。
スタバ1号店もあり、僕は自分のお土産に水筒を買いました。
ロゴが違い限定商品なので、これから大切に使います。
他にも、ガムの壁や魚を投げる魚屋さんがあり、とても面白かったです。

ホストファミリーと、たくさん写真を撮りました。みんなで撮るときは、近くの人をお願いをしました。
その時、僕はみんな、とてもフレンドリーだと感じました。

アメリカでは、ご飯の量がとても多かったです。
でも美味しかったです。個人的には、味が濃いと感じました。
ホストファミリーが作るご飯も、お店並みに美味しかったです。
朝は、パンケーキかワッフルが多かったです。
お米を早く食べたいくなりました。
ホストファミリーが作ってくれたお弁当にも、お米が入っていましたが、日本のお米が一番だと思いました。



ユージンでは、シルバーフォールに行きました。
アメリカにも、こんないい所があるんだと、びっくりしました。
自然豊かで涼しくて、いい景色で最高でした。
滝が5個くらいありました。山の中を1万歩以上歩き、すごく疲れました。
みんなも見たい景色がいっぱいありました。

10日間は、とても早く感じました。またいつか行きたいし、ホストファミリーにも会いたいです。
この経験を活かして、これからの生活を送っていきます！
ありがとうございました。



＜シアトル＞

コリンズファミリーはとても親切で、私たちの緊張をほぐすためにシアトル創業のコストコや海に連れて行ってくれた。翌日からエドモンドカレッジでアクティビティを行い、最終日には修了証をいただいた。その中で催されたピザパーティーではエドモンドカレッジの生徒と英語で会話をしながら食事をしたことが印象深かった。日本領事館へ訪問した時は、電車でシアトルの都市まで行き、領事の方と質疑応答などの有意義な時間が持てた。また、スターバックスの1号店に行けたのは嬉しかった。最終日はホストファミリーみんなでボードゲームをして居心地のよい時間を過ごすことが出来た。



＜ユージン＞

ユージン市長やユージンの方々は私たちを歓迎してくれて市庁舎や議会場を案内していただいた。ホストファミリーのブリューワー家は私を温かく迎え入れてくれた。経営している乗馬クラブで騎乗させてもらい、馬舎の掃除を手伝いをした。14歳のアラリックとトランポリン、卓球やアメフトをしているうちにいつの間にか仲良くなっていた。家族とショッピングモールに行き、ナイキグッズを自分用に購入することもできた。キャプテンアメリカの映画を観たが、字幕がない映画は新鮮で分からない部分もあったが理解はできて面白かった。その後にボーリングやゲームをした。家族との会話やボディータッチなどが普通に続いていくのが嬉しく感じた。また、今の時期しかできないイースターエッグ探しも用意してくれて経験することができた。

私は日本のスギ花粉のアレルギーが最もつらいので、花粉について尋ねると、ユージンにもいろいろな花粉のアレルギーがあるということをホストファザーが教えてくれた。ただ、スギ花粉アレルギーの私にはユージンの空気が快適で外でもリラックスができたので深呼吸をたくさんした。最後の朝はとても悲しい別れだと彼らも言っていた。私ももう少し長ければと悲しくなった。帰り際にサワードウというパンの材料とレシピを持たせてくれた。帰国後に作りましたが、とても美味しくてその写真をホストファミリーにメールで送ったらとても喜んでくれた。



シアトル、ユージンとも初めての景色や人に出会い、多くの新しい発見があった。2軒ともホストファミリーの作ってくれた食事がとても美味しく最高のおもてなしだったと思った。英語での会話は改めて難しいと感じたので、次は翻訳に頼らない会話をしてみたい。引率して頂いた松下さん、シェーンさん、また掛川市長や関係者の皆様に深く感謝します。今回の旅の仲間やホストファミリーと出会ったことが価値のある一番の思い出となった。

第 15 回高校生ユージン研修訪問団 参加者の声（抜粋）

Q. あなたがこの研修に応募した動機・目的を教えてください（複数回答あり）

自分の英語力を試したかったから 5 名
ホームステイをしてみたかったから 4 名
アメリカ人の生活や考え方を知りたかったから 3 名
日本を離れ、日本のことや自分自身を見直してみたかったから 3 名
留学体験をしてみたかったから 3 名
など

Q. ホストファミリーとの交流はいかがでしたか？
とても楽しく交流できた 7 名

Q. 研修を通じて改めて日本をどう思いましたか？
物価が安い国だと思った
行動力や活発さはアメリカと比較すると物足りなく感じた
安全で清潔な国だと思った
ご飯が美味しいホワホワしている
など

Q. 印象に残ったことは何ですか？
ホストファミリーが親切だった
食文化や交通などの文化の違い
スーパーの商品の大きさ、町の雰囲気など、日本とは規模が違いすぎる
アメリカ人のように紳士的にふるまえるようになりたいと感じた
など

Q. 感動したこと、感謝したことは何ですか？
食事が美味しかったこと
英語がゆっくりでも、最後までしっかり聞いてくれたこと
ユージン市の議員席に座れたこと
ハグの文化が素敵だなと思った
など

Q. 研修を通して得たことは何ですか？
リスニング力が増えたこと
躊躇せずに英語を話せるようになったこと
たくさん大切な人とのつながり
言語はツールであるという認識
将来について考えるきっかけになった
アメリカの人達の人柄に心を打たれた
など

Q. 来年この研修に参加する高校生へのメッセージ
英語力が無くてもいいのでやってみてほしい
英語が苦手だと思っている人こそ実際にアメリカに行ってみるといい
不安に思うかもしれないけど、思い切って参加してみてほしい
迷っているなら絶対参加したほうがいいと思います
面白いし楽しい。怖いかもしれないけどいい経験になるよ
迷っている暇はない。人生にとって最高の 8 日間になると思います！
不安はあると思いますがスタッフがサポートしてくれます

第 15 回高校生ユージン研修訪問団 保護者様の声（抜粋）

Q. お子さんをこの研修に参加させた理由を教えてください（複数回答あり）

- ・子どもの英語力の向上を期待したから
- ・日本を離れ、家族や自分自身を見直させるいい機会だと思ったから
- ・ホームステイをさせてみたかったから
- ・初めての海外渡航なので市の企画なら安心だと思ったから
- ・大学受験など将来の進路に有利だと思ったから

Q. 研修の時期は適当でしたか？

- ・春休みで参加しやすかった（5 名）
- ・冬休みの方がよかった（1 名）
- ・部活動が被らない時期の方が良かった（1 名）

Q. 渡米期間はいかがでしたか？

- ・ちょうどよかった（5 名）
- ・もう少し長くても良かった（1 名）

Q. 参加費はいかがでしたか？

- ・研修内容とつり合いちょうどよいと思った（3 名）
- ・研修内容の割りに高いと思った（1 名）
- ・研修内容は素晴らしかったが、円安で仕方がない（1 名）
- ・高かった（1 名）

Q. お子様を参加させようと思ったきっかけや理由をお聞かせください

- ・10 代の多感な時期に何かを感じて欲しかった
- ・大学のオープンキャンパスで留学した人が多かったと聞き、得意な英語を伸ばして自信をつけさせたかった
- ・語学留学や海外に興味を持っていたから
- ・早く生の英語に、環境に触れて、英語を勉強する意味を肌で感じて欲しかった。
- ・今でしか経験できない体験をさせたかった。

Q. 帰国後のお子様に変化はありましたか？

- ・姉弟仲がさらに良くなった
- ・積極的になった
- ・Google などに頼らなかった。話すことより、リスニングがすごく身についた、と言っていました。日本人として、食べ物を残さないとか、お礼の置き手紙をやった、とか。誇らしげに、話してくれました。
- ・頼もしくなったと思う
- ・英語を今まで以上に勉強するよう、取り組むようになった。
- ・ホストファミリーに温かく歓迎されてアメリカの世界に飛び込めたことがこれからの人生に繋がればと思っています。新しい発見をして何か変化があるはずです。